

第3章 色彩景観の基本的とらえ方

1. 色彩景観の基本的視点

(1) 色彩の役割

色彩には記号的役割を果たす機能色と、イメージなどを連想させる情緒色があります。機能色は、工場や道路交通標識などでよく見られ、一般に赤は危険、黄は注意、緑は安全を意味します。情緒色は、赤は情熱、青は冷たさを連想させ、寒暖感、軽重感、派手・地味感などをイメージします。

色彩景観では、建築物等の色彩イメージとこれらの背景となる景観との整合性を図ることが大切です。



△岸和田市では、城下町をイメージさせる白や黒の無彩色が多く見られます。

(2) 色彩景観の見え方と距離

人と対象物の距離の関係は、遠景・中景・近景に区分できます。

色彩景観では、周辺の建築物との秩序感のある色彩の関係性が重要であり、特に中景の見え方に注意をはらう必要があります。

△岸和田市の歴史的なまちなみでは、遠景・中景では瓦屋根や建築物等の連続性、近景では風合いのある自然素材との調和が特に重要です。

	遠景	中景	近景	近接景
色彩景観の見え方	建築物の細部形状がはっきりせず、色のかたまりとして地域全体の色彩構成が把握できる。	建築物全体が把握でき、形状や配色がはっきりする。また、周辺の景観構成要素の色彩関係が把握できる。	建築物の素材感や色彩の関係が把握できる。	建築物の素材の細部の模様や、色彩の関係が把握できる。
景観構成要素	まちなみ、山並み、空、河川、ため池、田園等	建築物全体、道路面、屋外広告物、街路樹、モニュメント等	建築物の一部、草花、道路面、標識、サイン等	建築物の一部、草花、標識・サイン等

(3) 色彩と素材感

土や木材、石材などの自然素材は、自然景観と調和し地域になじむ色として人々にやすらぎを感じさせます。また、ステンレスやコンクリートなど人工素材と組み合わせることにより、まちなみには新鮮なイメージを与えます。しかし、樹木の緑、空や水の青等の自然の色やレンガ色などの自然素材を塗料等で模した人工素材は、自然のもつ風合いで感じられないで、取り扱いには十分な配慮が必要です。



△土壁や板張り、石垣の暖色系や白壁や瓦の無彩色は市の伝統色となっています。

(4) 移り変わる色彩

色彩景観は、場所や季節や時間、気候、風土によりさまざまな表情を見せてくれます。素材色は長い時間と共に変化し、環境になじむ色彩となります。

人工物の色彩は、移り変わる自然の色彩の美しさが映える落ち着いた色彩や、飽きのこない色彩や、陰湿感や閉塞感を軽減する温もりのある色彩が望されます。



△岸和田市では南東部に山なみが連なるため逆光となりやすく、海側からはまちなみがややうす暗く感じられます。

3. 快適な色彩景観形成に向けて

(1) 環境特性と色彩

色彩景観は、商業地、業務地、住宅地、工業地などの用途の違いや、市街地や郊外の環境特性により異なります。地域らしさが感じられる色彩景観とは、地域性や景観特性をどのように把握し、どのような色彩が望ましいかを検討することから始まります。



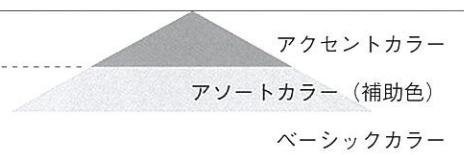
△岸和田市は、地形条件等の違いにより景観区ごとに色彩景観の特徴を見い出すことができます。

(2) 配色構成

建築物の外観は、壁面などの大面積を占める基調色と、扉や窓枠などの小面積に使用される強調色があります。変化や魅力的な色彩景観を形成するには、建築物などの外観の色彩面積や形態を考慮し、バランスのとれた配色を構成することが大切です。

強調色	地域の演出や魅力づけを表現する色彩で、色彩景観の「図色」となります。
基調色	景観への影響力が大きい公共性を有する色彩で、色彩景観の「地色」となるため、対象物の色彩選定は基調色から検討します。

△岸和田市では、だんじり祭りの鮮やかな色彩は変化する色（可動色）であり、地域性を演出する色としてサインや建築物のアクセントに用いられています。



(3) 配色調和

建築物や構造物の色彩を組み合わせることによって、景観にまとまりをもたせることを配色調和といいます。配色調和には、類似調和と対比調和がありますが、一般的に基調色は落ち着いたトーンの類似調和が基本となります。対比調和は、建物の形状や部位を効果的に演出する強調色などに用います。

類似色相		対比色相	
	同一・類似色相による調和 同一色相、あるいは、色相、明度、彩度が比較的近い色から選定		対比色による調和 対照的な関係に、ある色相やトーンを用いた配色

△岸和田市では、類似色相だけでなく無彩色と素材色組み合わせた重厚な配色も見られます。

(4) 色彩景観とイメージ

対象となる建築物などの施設イメージと背景となる景観イメージとの色彩の相互関係を把握することは、周辺環境と調和した色彩選定の重要な手がかりとなります。このため、人々の共通感覚を形容詞で表現し、色と言葉の結びつきを右図に示したイメージスケールなどに配置することにより、色とイメージの整合性を確認することができます。

参考	岸和田市全体の景観イメージを、右図の環境イメージマップに配置し、色彩景観の方向性を把握してみましょう。また、景観区や地区ごとの色彩景観についても、環境イメージマップを色彩選定の参考としてご利用下さい。 <岸和田市全体の景観イメージ例> ●風格を感じさせるナチュラルな安定感……伝統的、穏和な、落ち着いた色彩 ●新しさを感じさせるナチュラルな親近感……新しい、親しい、都会的
----	---

▼環境イメージマップ

